

■複層塗材の上塗り

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイトンス、エフロレッセンスは完全に除去し、含水率10%以下（PH 10以下）に管理して下さい。豆板、欠け、不陸、目違いなどはダイヤファイラー、ダイヤセメントファイラー、またはセメンジャス # 2000等で平滑に補修して下さい。						
2	下塗り	ダイヤワイドシーラー 無希釈	15kg	0.1～0.15kg/m <sup>2</sup> 100～150m <sup>2</sup> /缶	1	—	2時間以上	刷毛 中毛ローラー エアレス
3	主材吹き	ダイヤエボンE1液型 清水	20kg 0～0.4%	1.3～1.5kg/m <sup>2</sup> 14～16m <sup>2</sup> /缶	1	—	24時間以上	タイルガン
4	(凸部処理)	主材吹き後、20分以内に硬質プラスチックローラーに塗料用シンナーをつけながら軽く押える。(押さえ模様の場合のみ)						
5	上塗り	ダイヤ1液ナチュラルシリコン ダイヤシンナーN	15kg 1～2.5% 0～1.5%	0.25～0.35kg/m <sup>2</sup> 42～60 m <sup>2</sup> /缶	2	3時間以上	—	刷毛 中毛ローラー エアレス
5	上塗り	ダイヤ2液ナチュラルシリコン A液 ダイヤ2液ナチュラルシリコン B液 ダイヤシンナーN	12kg 2kg 1～2% 0～1%	0.25～0.35kg/m <sup>2</sup> 40～56m <sup>2</sup> /t/t	2	3時間以上 7日以内	—	刷毛 中毛ローラー エアレス

■弾性主材仕様

工程	材料	調合割合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレイトンス、エフロレッセンスは完全に除去し、含水率10%以下（PH 10以下）に管理して下さい。豆板、欠け、不陸、目違いなどはダイヤファイラー、ダイヤセメントファイラー、またはセメンジャス # 2000等で平滑に補修して下さい。						
2	主 材	弾性主材の標準仕様により塗装して下さい。						
3	上塗り	ダイヤ2液ナチュラルシリコンD A液 ダイヤ2液ナチュラルシリコンD B液 ダイヤシンナーN	12kg 2kg 1～2% 0～1%	0.25～0.35kg/m <sup>2</sup> 40～56m <sup>2</sup> /t/t	2	3時間以上 7日以内	—	刷毛 中毛ローラー エアレス

※間隔時間は、標準状態（23℃、50%RH）の場合です。冬期・夏期では、温度・湿度によって間隔時間にかなりの差異がありますので注意して下さい。

※所要量は下地の形状・状態により変動します。

■適応下地

コンクリート（打ち放し面、合板型枠面、メタルフォーム面、PCパネル面）、モルタル（ハケ引き面、コテ押し面）、ALCパネル※1、コンクリートブロック※2、石膏ボード・石膏プラスボード、繊維強化セメント板、押出成形セメント板※3

- ※1印=ダイヤカチオンファイラー処理
- ※2印=ダイヤガンコーシーラー等の反応硬化形下塗材
- ※3印=ダイヤシーラーエボ等の反応硬化型下塗材

\*改修・金属下地等は各営業所にご相談下さい。

■包装単位

ダイヤダイヤワイドシーラー	.....15kg缶
ダイヤアクレスファイラー	.....16kg缶
ダイヤヒスイエボサビ #100	.....15kg缶
ダイヤヒスイエボサビ#200A	.....16kg ( A液:14.4kg/B液:1.6kg) t/t
ダイヤシンナーN	.....16%
ダイヤ1液ナチュラルシリコン	.....15kg缶
ダイヤ2液ナチュラルシリコン	.....14kg(A液:12kg/B液:2kg) t/t
ダイヤ2液ナチュラルシリコンD	.....14kg(A液:12kg/B液:2kg) t/t

■施工・管理上の注意	
<p>【塗装面の調整（新設）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイトン等を完全に除去して下さい。</li> <li>セメント質下地は、表面の含水率10%以下（pH10以下）になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。</li> <li>雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。</li> <li>PCパネル、現場打ちコンクリートの場合               <ol style="list-style-type: none"> <li>豆板、木コン、破損箇所、不陸などは、セメントファイラー、セメンジャス#2000、セメンジャス#2500、リマモルタ70等の下地調整材を使用し、掃修して平滑にして下さい。</li> <li>表面が緻密でレイトンス層がある場合は、レイトンスを除去し、ダイヤガンコーシーラー又は、ダイヤシーラーエボを使用下さい。</li> </ol> </li> <li>ALCパネルの場合               <ol style="list-style-type: none"> <li>ダイカ材フチを塗布して下さい。</li> </ol> </li> </ol> <p>【塗装面の調整（新設・改修共通）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>塵上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。</li> <li>使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。</li> </ol> <p>【塗装面の調整（改修）】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理（ケレン、清掃、高圧水洗浄）などを行って下さい。</li> <li>顔面層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。</li> <li>材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5～35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。</li> </ol> <p>【施工】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨（雪）養生して下さい。</li> <li>材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。配合割合を誤りますと、腐食不良や本来の塗膜性能が発現できませんので注意して下さい。</li> <li>材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生して下さい。塗付面周辺の養生を完全にしない、施工時建物の周辺へ飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。乾燥後、養生テープを取り除く場合はカッターを入れて下さい。そのまま取り除きますと珪が残りバリとなります。</li> <li>乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により変異を生じます。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力以上のものをご使用下さい。</li> <li>下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。</li> <li>施工にあたっては、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り履きは色違いやムラの原因になります。</li> <li>施工後24時間以内に露雨、結露等があった場合、水分の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。</li> <li>本施工に入る前に試験塗布を行い、施工のタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりがムラにならないよう確認して下さい。</li> <li>希釈する場合は、希釈量を厳守して下さい。薄め過ぎるときれいに仕上らないことがあります。特に濃色や下地の吸い込みがない場合は少なめに希釈して下さい。</li> <li>常に結露が発生する地域、時期での施工は避けて下さい。</li> <li>安全衛生上の注意事項については、容器の表示を合わせてご参照下さい。</li> <li>一度に厚く塗ると色分けや発泡が生じることがあるため、間隔時間を守り、規定回数以上に分けて塗布して下さい。</li> <li>塗装下地の状態によって、塗布量が変わる場合があります。</li> <li>フラスコや無機系などの難読警備塗装処理がされている下地については、付着性が十分に発揮されないおそれがありますので、ご使用の場合は最寄の営業所へご相談下さい。</li> <li>可使用時間及び塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。</li> <li>使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。</li> <li>濃色や原色に近い色の場合、強くこすると色が取れる場合があります。</li> <li>下地の吸込ムラにより色彩のムラが発生する場合があります。</li> <li>シーラーと上塗りを混合するとゲル化する恐れがありますので、容器・刷毛・ローラーなどの汚染は避けて下さい。</li> <li>上塗材を施工する場合は、下塗り後の乾燥状態を確認して下さい。</li> <li>既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には高圧水洗洗後にダイヤガンコーシーラーまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。</li> <li>施工後、塗膜が乾燥するまでに、降雨などにより水分の影響を受ける状態が継続された場合、低汚染機能が発現しないことがあります。乾燥までに降雨や積雪、結露が予想される場合は施工を避けて下さい。</li> <li>予想外の降雨などが発生した場合は、シート養生などを行い塗装面が濡れないよう対策を講じて下さい。</li> <li>施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。雨降りでない部位・斜壁、水切りが十分な面や窓まわり及びその下側面などは、低汚染機能が発現しないことがあります。</li> <li>シーリング材などに含まれる可塑剤、煤煙や油類、サビ汁などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。</li> <li>上塗は塗布量を厳守し均一に施工して下さい。塗布量が少ない場合は低汚染機能が十分に発揮されません。</li> </ol>
<p>【塗布面の吸い込みが大きい場合は、下塗などにより吸い込みを少なくし、上塗が塗布面に吸い込まれないようにして下さい。表面に上塗材が十分に確保されていないと耐候性、低汚染機能が発揮されません。</p> <p>⑤A液とB液は指定の割合で調合し、電動攪拌機を用い十分に混合（2分以上）して下さい。</p> <p>⑥A液とB液の混合比率が不適切であったり、B液を調合していなかった場合は、低汚染機能が発現しません。</p> <p>⑦タッチアップに使用する場合は、上塗のA液、B液の缶を良く振り、沈降分離していないものを指定の割合で計量調合し、電動攪拌機を用い同様に混合し使用して下さい。</p> <p>⑧A液とB液の混合後は可使用時間以内に使用して下さい。可使用時間を超過して使用した場合は、作業性や仕上り、汚染機能が発現しない場合があります。</p> <p>【材料の保管・管理】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>下記の製品は危険物ですので、火気や換気に十分注意して下さい。ダイヤヒスイエボサビ#100、ダイヤヒスイエボサビ#200A、ダイヤシンナーN、ダイヤ1液ナチュラルシリコン、ダイヤ2液ナチュラルシリコン、ダイヤナチュラルシリコンD</li> <li>空気中の水分と反応しますので一度開封した塗料は、長期保存が出来ません。ご注意ください。</li> </ol> <p>【安全衛生上の注意】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防護マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。</li> <li>取扱い後は、手洗い及びうがいも十分に行って下さい。</li> <li>子供の手の届かない所に保管して下さい。</li> <li>作業中・作業後は十分換気を行って下さい。</li> <li>廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。</li> <li>目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。</li> <li>誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。</li> <li>中身を使い切ったから廃棄して下さい。</li> <li>皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。</li> <li>臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。</li> </ol> <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>その他、詳しくは最寄の各営業所へお問い合わせ下さい。</li> <li>施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認ください。</li> <li>施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート（SDS）をご確認ください。</li> </ol>	<p>製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <a href="https://www.dia-dyflex.jp/">https://www.dia-dyflex.jp/</a> にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。</p>
<p>2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社と統合され、新たに <b>シーカ・ジャパン株式会社</b> としてスタートいたしました。</p>	

(24.3月現在) 24.03. 400 SJ

# ダイヤ ナチュラルシリコンシリーズ

## ダイヤ1液ナチュラルシリコン

1液弱溶剤形セラミック変性アクリルシリコン樹脂塗料

## ダイヤ2液ナチュラルシリコン

超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドアクリルシリコン樹脂塗料

## ダイヤ2液ナチュラルシリコンD

超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドアクリルシリコン樹脂塗料(弾性)

安全性

低汚染型

防カビ

# ダイヤナチュラルシリコンシリーズ

- ダイヤ1液ナチュラルシリコン** 1液弱溶剤形セラミック変性アクリルシリコン樹脂塗料
- ダイヤ2液ナチュラルシリコン** 超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドアクリルシリコン樹脂塗料
- ダイヤ2液ナチュラルシリコンD** 超低汚染弱溶剤形セラミックハイブリッドアクリルシリコン樹脂塗料 (弾性)

特殊薬剤の配合により、カビに対して強い抵抗力を発揮。下地や既存塗膜種類に係わらず、一般外壁から鉄部塗装まで広範囲な用途に優れた耐候性を実現する弱溶剤系の塗料です。旧塗膜に対する適用性が広くシーラー不要で直接施工できるケースが多いので、新築はもとより塗替えにも最適で工期の短縮が図れます。

## 低汚染型

セラミック成分と樹脂成分とをハイブリッド化させることにより、耐汚染性に優れた塗膜表面を形成、長期にわたり美観を守ります。

## 防カビ

塗膜に防カビ性を付与させていますので、外壁面のカビを抑制するとともに、カビによる塗膜の劣化を防ぎます。

## 鉛フリー

鉛を使用していないため、環境に優しく、安全性に優れています。

## 耐候型

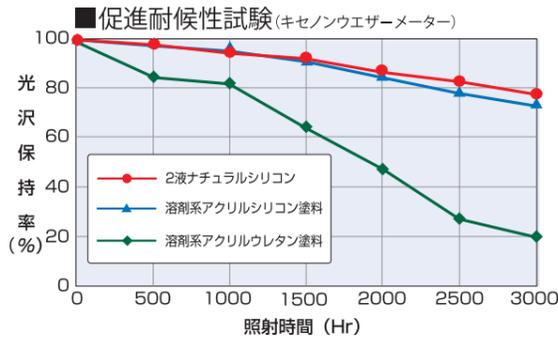
太陽光や雨などの劣化要因に強いシロキサン結合を持つ強靱な塗膜が酸性雨や紫外線・熱に対して優れた抵抗力を発揮します。

## 透湿性

水蒸気を通し、水分を通さない塗膜が室内の結露を防止します。

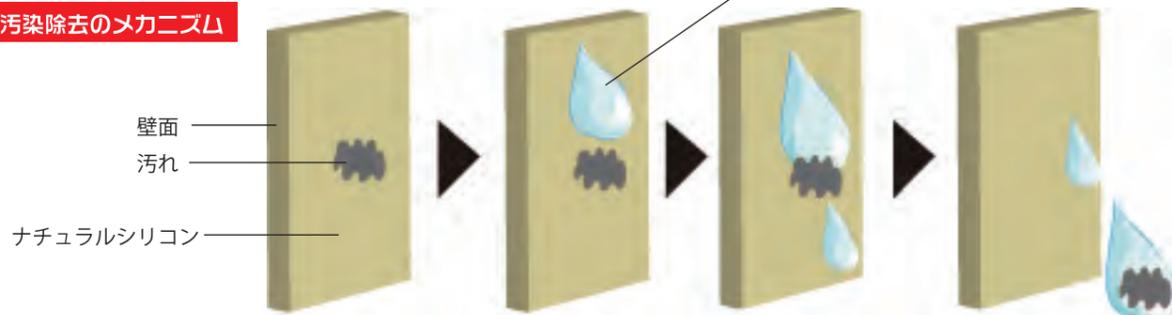
## 低臭性

溶剤系(強溶剤)塗料に比べ臭気が少なく、作業環境の改善に役立ちます。



試験項目	品質基準	結果	試験方法
耐候性B法	照射時間 2500 時間で、塗膜に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率 80%以上で、変色の程度がグレースケール 3 号以上であり、白垂化の等級が 1 以下であること	外観異常なし 光沢保持率: 82 グレースケール: 4-5 号 白垂化等級: 1	JIS A 6909 : 2003 7.19 ※アクリルシリコン下地

## 汚染除去のメカニズム



## 標準仕様 一般外壁:新規・改装下地

工程	材料	調割合合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
1	新規	下地に付着している土砂、ほこり、油脂類およびレタンス、エフロッセンスは完全に除去し含水率10%以下(pH 10以下)に管理してください。豆板、欠け、不陸、目違いなどは、ダイヤファイラー、ダイヤセメントファイラー、またはセメンジャス # 2000 等で平滑に補修してください。					
	改修	各新規・改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン補修、汚れの除去等を行って下さい。					
2	ダイヤ1液ナチュラルシリコン ダイヤシンナーN	15kg 1~2.5% 0~1.5%	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 42~60 m <sup>2</sup> /缶	2	3時間以上	—	刷毛 中毛ローラー エアレス
2	ダイヤ2液ナチュラルシリコン A液 ダイヤ2液ナチュラルシリコン B液 ダイヤシンナーN	12kg 2kg 1~2% 0~1%	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 40~56 m <sup>2</sup> /セット	2	3時間以上 7日以内	—	刷毛 中毛ローラー エアレス

【新規】※下地が押出成型板、GRC板などにはガンシーラー等の下塗材をご使用下さい。  
※ALC面にはダイヤカチオンファイラー又はダイヤアクリルシリコン下地調整を行って下さい。  
※複層塗材(硬質)の上塗材としても適用できます。  
※コンクリート、モルタル、PC板等の新規下地には、下塗材としてダイヤガンシーラーマイルド又はダイヤガンシーラーをご使用下さい。  
【改装下地】※改修下地のクラック充填処理する場合には、下塗材としてダイヤアクリルシリコン下地調整を行って下さい。  
※旧塗膜がアクリルシリコン樹脂又はフッ素樹脂系の場合はダイヤセランプライマー-S、ダイヤメンテプライマー-TN等の下塗材をご使用下さい。(状況によっては使用できないケースもあります。)

## 一般外壁:改修仕様(ひび割れ充填仕様)

工程	材料	調割合合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
1	各改修工事仕様に基づいて、劣化部分のケレン補修、汚れの除去等を行って下さい。						
2	ダイヤアクリルシリコン ※ 中毛ローラー	16kg 1.0~1.3%	0.3~0.5kg/m <sup>2</sup>	1	—	5時間以上	左参照
	清水 多孔質ローラー	— 0.5~0.8%	0.8~1.0kg/m <sup>2</sup>	1	—	16時間以上	
3	ダイヤ1液ナチュラルシリコン ダイヤシンナーN	15kg 1~2.5% 0~1.5%	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 42~60 m <sup>2</sup> /缶	2	3時間以上	—	刷毛 中毛ローラー エアレス
3	ダイヤ2液ナチュラルシリコン A液 ダイヤ2液ナチュラルシリコン B液 ダイヤシンナーN	12kg 2kg 1~2% 0~1%	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 40~56 m <sup>2</sup> /セット	2	3時間以上 7日以内	—	刷毛 中毛ローラー エアレス

※シリコンエポキシ樹脂を使用した「ダイヤアクリルシリコン」もご使用いただけます。  
※ダイヤアクリルシリコンの塗膜が薄い場合、旧塗膜の種類によっては仕上材のリフティングの現象(縮み)が発生する事があります。特に溶剤・弱溶剤の上塗りを使用する際、ダイヤアクリルシリコンを中毛ローラーで施工する場合は2回塗(塗布量:0.6kg/m<sup>2</sup>以上)を推奨します。

## 鉄部:新規・改装下地

工程	材料	調割合合	所要量	塗回数	間隔時間		施工用具
					工程内	工程間	
1	塗装下地のゴミ、汚れ、油脂類などを取り除いて下さい。旧塗膜の滑膜を残して、劣化膜やさびをワイヤーブラシ、サンドペーパー等による手ケレンや電動工具により十分にケレン除去し、清掃します。鉄部が露出した箇所や溶剤部はダイヤヒスイエボサビ#100、又はダイヤヒスイエボサビ#200Aで扱い塗りして下さい。						
2	ダイヤヒスイエボサビ#100 ダイヤシンナーN	15kg 0~6%	0.14~0.16kg/m <sup>2</sup> 94~107m <sup>2</sup> /缶	1	—	4時間以上	刷毛 中毛ローラー
2	ダイヤヒスイエボサビ#200A A液 ダイヤヒスイエボサビ#200A B液 ダイヤシンナーN	14.4kg 1.6kg 0~2%	約0.16kg/m <sup>2</sup> 約100m <sup>2</sup> /セット	1	—	4時間以上 7日以内	刷毛 中毛ローラー
3	ダイヤ1液ナチュラルシリコン ダイヤシンナーN	15kg 1~2.5% 0~1.5%	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 42~60 m <sup>2</sup> /缶	2	3時間以上	—	刷毛 中毛ローラー エアレス
3	ダイヤ2液ナチュラルシリコン A液 ダイヤ2液ナチュラルシリコン B液 ダイヤシンナーN	12kg 2kg 1~2% 0~1%	0.25~0.35kg/m <sup>2</sup> 40~56 m <sup>2</sup> /セット	2	3時間以上 7日以内	—	刷毛 中毛ローラー エアレス

※下地がアルミ、ステンレス(SUS 304以外)の場合にはダイヤハイエボプライマーをご使用下さい。  
※ダイヤヒスイエボサビ#100、ダイヤヒスイエボサビ#200Aの塗布量は厳守して下さい。塗布量が少ない場合は点錆が発生する恐れがあります。  
※ダイヤ2液ナチュラルシリコンの場合はダイヤヒスイエボサビ#200A、ダイヤ1液ナチュラルシリコンの場合はダイヤヒスイエボサビ#100を推奨します。